

営業の概況

2011年12月31日に終了した事業年度

業績

トップメッセージ

特集

事業の概況

企業情報

財務セクション



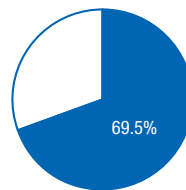
二輪車事業

主要製品

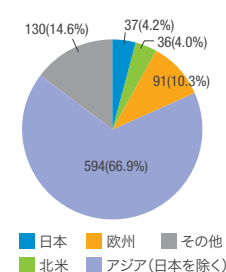
二輪車、海外生産用部品、中間部品

YZF-R1

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



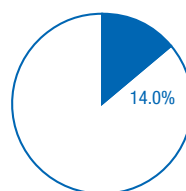
マリン事業

主要製品

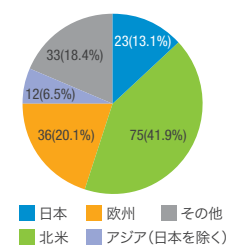
船外機、ウォータービークル(水上オートバイ)、レジャーボート、FRP(ガラス繊維強化プラスチック)プール、漁船、和船、ディーゼルエンジン

SR310

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



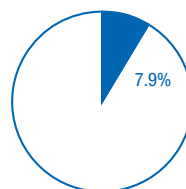
特機事業

主要製品

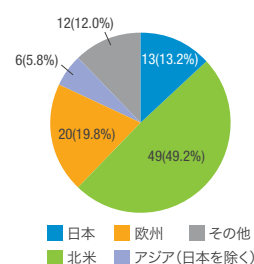
ATV(四輪バギー)、SSV(サイド・バイ・サイド・ビークル)、スノーモビル、ゴルフカー、発電機、除雪機、汎用エンジン

YFZ450R

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



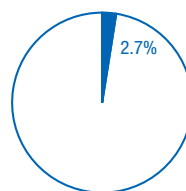
産業用機械・ロボット事業

主要製品

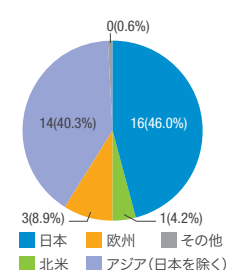
サーフェスマウンター(表面実装機)、産業用ロボット、車椅子

YS24

売上高比率



市場別売上高 (十億円)



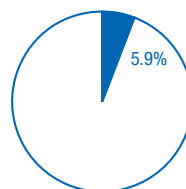
その他の事業

主要製品

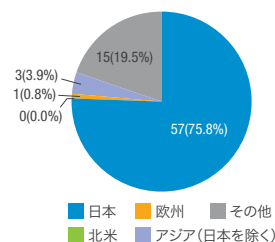
自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプター

PAS

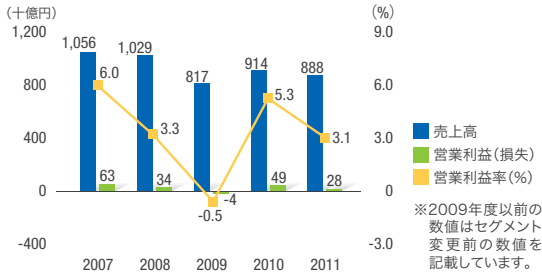
売上高比率



市場別売上高 (十億円)



業績



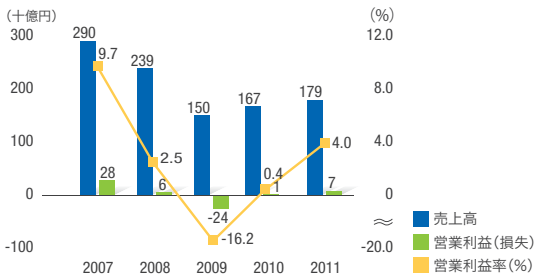
営業の概況

2011年12月期(以下「2011年度」)、先進国市場では、日米の出荷台数は前年度に比べ増加した一方、円高の影響などにより売上高は減少しました。アセアンでは、ベトナム・インドで出荷台数増加に伴い売上高も増加しましたが、インドネシア・タイなどではタイ洪水による生産影響のための出荷台数の減少に伴い売上高も減少しました。

これらの結果、2011年度の売上高は前年度比267億円(2.9%)減の8,876億円となり、営業利益は同210億円(43.2%)減の276億円となりました。

事業の概況
36~41ページ

業績



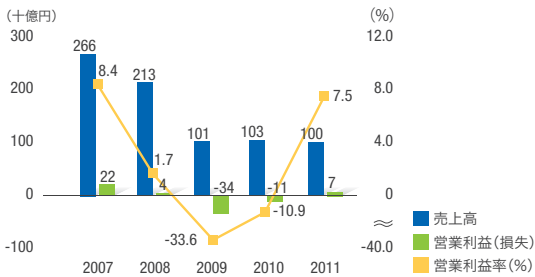
営業の概況

船外機事業は、先進国市場では米国で需要減少に底打ちが見られ、日本でも復興需要により販売数量が増加するなど業績が回復しました。また、ロシア・中南米・アジア市場でも引き続き好調に推移しました。

これらの結果、2011年度の売上高は前年度比118億円(7.1%)増の1,789億円となり、営業利益は同63億円(846.1%)増の71億円となりました。

事業の概況
42~43ページ

業績



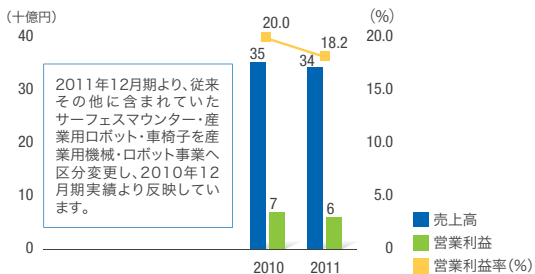
営業の概況

米国でのATV(四輪バギー)の需要減少が続き出荷台数は前年度を下回ったものの、発電機の出荷台数が拡大しました。

これらの結果、2011年度の売上高は、前年度比27億円(2.6%)減の1,003億円となり、営業損益は同187億円改善し、75億円の営業利益(前期は営業損失113億円)となりました。

事業の概況
44~45ページ

業績



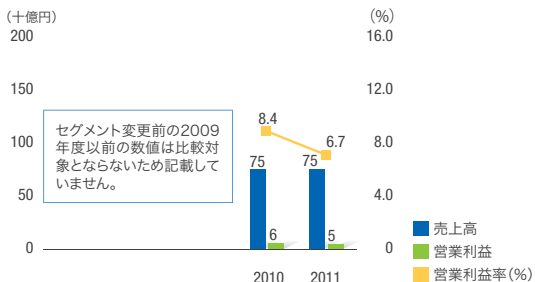
営業の概況

産業用機械・ロボット事業は、第3四半期以降、欧米の景気減速懸念により中国での設備投資需要が抑制され、サーフェスマウンターの販売が減少しました。

これらの結果、2011年度の売上高は、前年度比4億円(1.2%)減の343億円となり、営業利益は同7億円(9.9%)減の63億円となりました。

事業の概況
46ページ

業績



営業の概況

震災の影響により自動車用エンジンの販売が減少しましたが、商品競争力を高めた電動アシスト自転車などは販売を伸ばしました。

これらの結果、2011年度の売上高は前年度並み(0.1%増)の751億円となり、営業利益は前年度比13億円(20.6%)減の50億円となりました。

事業の概況
47ページ